



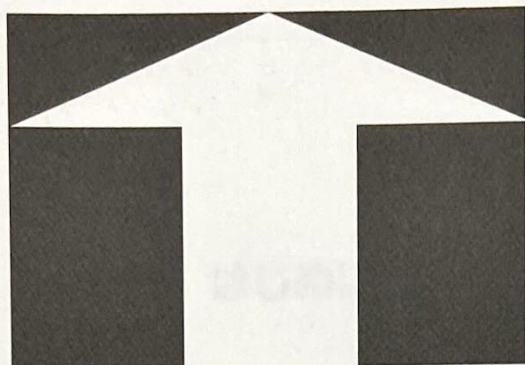
日本留学試験 速攻トレーニング 読解

●加藤早苗 沼田宏 杉本令子 喜多民子 佐藤直哉 多田明美 著●

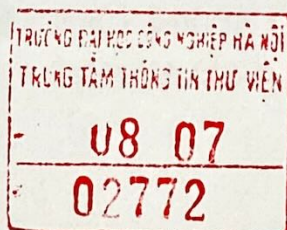
新傾向準拠・ポイントを
絞った80問を解き、
問題タイプごとの解き方を
身につけることで、
短期間で効率的に
得点アップができる！



アルク
www.alc.co.jp



日本留学試験 速攻トレーニング 読解 編



● はじめに ●

2002 年から始まった日本留学試験は 2010 年に改定され、日本語科目が再編されました。本書は、その新しい改定内容に基づいた日本語科目の試験対策問題集です。

日本留学試験は、日本の大学(学部)等に留学生が入学する際に受験する試験です。大学によって、日本留学試験を入学選考として利用したり、各大学の個別の試験ではなく日本留学試験の成績などを主な判断材料として合否を決めます(渡日前入学許可)。日本留学試験でよい成績を取ることが、日本での留学を成功させるための第一歩になります。ですので、日本留学試験対策の勉強は計画的に着実に進めてください。試験対策で大切なのは、本番と同形式の問題をたくさん解いて問題形式に慣れるとともに、制限時間内に問題を解く実践力を身に付けることです。「本書の使い方」と「基礎編」をよく読んでください。

日本の大学へ留学を希望する国内外の多くの人たちにとって、この問題集が少しでも助けになればうれしく思います。

2011 年 6 月

株式会社アルク日本語書籍編集部

● 目次 ●

はじめに	3
日本留学試験 改定のポイント	7
本書の使い方	8

基礎編

9

問題分析と対策アドバイス	10
例題にチャレンジ!	16

実践編

25

短文単問

問題1 レポートの課題	26
問題2 奨学金のお知らせ	27
問題3 飽きない食べ物	28
問題4 伝えること	29
問題5 「日本」という国	30
問題6 抽象論	31
問題7 アリの歩き方	32
問題8 行政サービスと税金	33
問題9 よい礼状とは	34
問題10 魚の紋様 ^{もんよう}	35
問題11 社内制度	36
問題12 平均の顔と職業	37
問題13 春と秋に花を咲かせる理由	38
問題14 会話の中の沈黙	39
問題15 ヒトは文明を作った	40
問題16 IT導入による変化	41
問題17 ヒッピー夫妻の子供	42
問題18 技術の習得と伝達	43
問題19 資本主義社会の資本家	44
問題20 学校での評価	45

問題 21	あるタンパク質の役割	46
問題 22	人間の独自性	47
問題 23	共有地の悲劇	48
問題 24	科学者に必要なもの	49
問題 25	疑ってみること	50
問題 26	宝石の歴史	51
問題 27	研究者の名前を覚えること	52
問題 28	国宝について	53
問題 29	警報の信頼性	54
問題 30	読書術	55

短文複問

問題 1	色彩の科学	56
問題 2	植物にとっての利子	58
問題 3	大学・大学院での研究	60
問題 4	医療保険について	62
問題 5	なぜ海水を飲んではいけないか	64
問題 6	時間の使い方	66
問題 7	技術の伝達	68
問題 8	素人の絵	70
問題 9	取引コスト	72
問題 10	株式会社の話	74
問題 11	きまりが悪い	76
問題 12	数字を使って話をする	78
問題 13	内と外	80
問題 14	進化と車酔い	82
問題 15	ネパールの大樹	84
問題 16	家賃の払い方	86
問題 17	雪の匂い	88
問題 18	ラクダが水なしで耐えられる理由	90
問題 19	日本とヨーロッパの食事	92

問題 20	視野の広い人	94
問題 21	活性酸素とは何か	96
問題 22	文字メディアと映像メディア	98
問題 23	記憶について	100
問題 24	日本語の仮名づかい	102
問題 25	新会社設立と会社法	104
問題 26	物質と感覚	106
問題 27	「わかる」とはどういうことか	108
問題 28	エスノセントリズム	110
問題 29	なぜ数学を学ぶのか	112
問題 30	「同じ」と「違う」	114

長文

問題 1	人との出会い	116
問題 2	難解な本の読み方	118
問題 3	水族館が発信すべきこと	120
問題 4	内発的動機づけとは	122
問題 5	問題の解決	124
問題 6	「登山型」の本、「ハイキング型」の本	126
問題 7	「選ぶ」ということ	128
問題 8	「セールス」と「マーケティング」	130
問題 9	「技術」と「技能」	132
問題 10	範囲の経済	134
問題 11	食物連鎖の循環系	136
問題 12	自律神経の働き	138
問題 13	本当の英語力	140
問題 14	病気について	142
問題 15	第一印象は3分で決まる	144
問題 16	デジタル時代の文字・活字	146
問題 17	江戸時代の仕事	148
問題 18	イルカ的能力	150
問題 19	身体の対象化	152
問題 20	歴史とは何か	154

実践編	正解と解説	156
-----	-------	-----

● 日本留学試験 改定のポイント ●

日本語科目の再編

領域	得点範囲		時間		試験課題の変更点
	改定前	改定後	改定前	改定後	
記述	文法的能力 0 ～ 3 点	0 ～ 50 点	20 分	30 分	課題のタイプの拡充
	論理的能力 0 ～ 3 点				
	合計 0 ～ 6 点				
読解	0 ～ 160 点	0 ～ 200 点	30 分	40 分	複問及び長文の導入
聴解	0 ～ 120 点	0 ～ 200 点	70 分	55 分	
聴読解	0 ～ 120 点				
合計 (記述除く)	0 ～ 400 点	0 ～ 400 点			
時間合計			120 分	125 分	

※記述：文字数が改訂前は 400 字程度→改訂後は 400 ～ 500 字に変更。

※読解：2010 年 6 月試験の読解では、長文問題は 1 文章、その他は短文問題（本文の長さが従来通りのもの）。短文問題には、複問のものと従来単問のものがある。

領域実施順の変更

2010 年 6 月試験より「記述」「読解」「聴読解」「聴解」の順で実施。

● 本書の使い方 ●

本書は、基礎編と実践編で構成されています。

基礎編では、実際に過去に出題された問題を取り上げ、どのようなことが問われるのか、どのようにすれば正解できるのかを説明しました。

問題は易から難へ並べてあります。

実践編には合計 80 問（短文単問 30 問、短文複問 30 問、長文 20 問）の練習問題が収録されています。出題形式別に、それぞれ易しい問題から難しい問題へと無理なく学習できるように並べてあります。基礎編(p. 13～15)には全ての問題の一覧を載せ、それぞれの問題の難易度を★の数で示しました。読解力に自信のない人は、★一つの問題から順に練習することをお勧めします。

問題文の分野が示してあります。

この一覧には問題文の分野も示してあります。自分の興味のある分野の文章のほうが取り組みやすいという人もいるでしょう。また、読み慣れていない分野の文章を重点的に読むというのもいい練習になると思います。

スピードと集中力の持続がカギです。

本試験では、短文単問 10 問、短文複問 6 問、長文 1 問程度の問題を合計 40 分で解かなければなりません。スピードと集中力の持続が求められます。速く読む練習はもちろん、集中力を維持する訓練も必要です。本試験と同じくらいの数の問題を続けて解く練習も、ぜひしてみてください。

詳しい解説があります。

巻末の「正解と解説」には、全ての問題についての詳しい解説があります。正解を確認するだけでなく、間違えた問題は解説をよく読んで、なぜそのような答えになるのか、きちんと理解しましょう。

編

基礎編